

全国高等専門学校デザインコンペティション2019 in 東京

メインテーマ【新『五輪書』 ―デザインの奥義を究めよ―】

創造デザイン部門 募集要項

テーマ: 彼(か)を知り己を知る ―未来につながる持続可能な地元創生―

1 提案概要

現在、わが国では「地方創生」の取り組みが推し進められています。その中で、地元住民が主体となり、「自律的」かつ「持続的」な取り組みも生まれてきています。こうした取り組みの根底にあるのは何といても「私たちの地元を良くしたい」という想い、地元愛です。創造デザイン部門では、皆さんに地元を良くするためのアイデア、「地元創生」のアイデアを提案していただきますが、「地方創生」としなかった点にまず目を向けてください。

アイデアの提案に際しては、地元が持つ価値は何か、理解を深めることが大切です。実際に街に出て、人々の暮らしを観察し、人々の生の声を聴いて、地元の魅力や資源は何か、そして課題は何かを探求してください。

また、提案するアイデアには、高専の強みである実践的技術を活かしてください。地元の魅力や資源に実践的技術を加えることで、経済的にも安定して循環していける仕組みをつくることも可能になります。地元住民の方々だけでなく、自治体や企業との連携・協働を視野に入れることも必要となります。

本選では、高専教育の一環として、相互研鑽(研さん)、学び合いの観点から、高専間での情報共有やグループワークを実施します。全国各地の高専が集まり、お互いの視点や情報を共有し議論し合うことで、さらなる創造的な「地元創生」のアイデアへと発展していくことが期待されます。また、こうしたアイデアを各高専から発信することで、日本全体の大きな流れにつながっていくはずです。

地元で暮らす皆さんが、地元愛や誇りを持って、安心して暮らすことができる仕組み(アイデアとそのプロセス)の提案を期待しています。

—審査委員長からのコメント—

「未来を知りたければ、じぶんで未来をつくりだせばいい」

パーソナルコンピュータのお父さんとも呼ばれるアラン・ケイ氏が、未来を知るにはどうしたらいいのかという主旨の質問に回答した際の言葉だと記憶しています。

未来は決して、だれかがつくってくれるものではありません。

1秒後の未来も、1ヶ月後の未来も、1年後の未来も、今ここにいるもしくはこれから生まれてくる皆さんの手でつくっていくものです。

今回のテーマである10年後の未来も同様です。

固定観念にとらわれず、皆さんがやりたいと思う未来が表現された提案を期待しています。

2 提案条件

- ① 地域資源を生かした地域振興につながる「創造性^{*}のあるサービス(こと)」「プロセスデザイン(どのようなストーリーで地域の人を喜ばせるか)」を提案してください。「創造性^{*}のある製品(もの)」を提案する場合には、その「製品(もの)」がどのような仕掛けで地域振興に関与していくのかという「プロセスデザイン(ストーリー)」も併せて提案してください。特に創造デザイン部門では「こと」興しを重視していることから、「こと」興しの仕掛けのみに特化する「プロセスデザイン」も含まれます。「もの」のみの提案は不可とします。

※ 創造性とは多様な人々によるさまざまな視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれたものを示します。

- ② 地域(人、企業・自治体・NPO・住民組織等)が抱えている課題を解決するための「こと」を興すプロセスを提案してください。地域課題を捉えるには“現場の情報に当たる”必要がありますが、その方法としては、まず仮説を立て、その仮説を検証できるフィールドワーク(観察)、インタビュー調査、データの分析^{*}などが考えられます。しかし、必ず当事者(課題を抱えている人)の声を直接聞き、そして共感(empathy)して問題の本質を探り当てる様に心がけてください。

*RESAS 地域経済分析システム(<https://resas.go.jp/>)も有ります。

- ③ プロセスデザインは、人(当事者)のニーズから出発し、目標とする地域像を実現するためのプロセスを提案するもので、そのプロセスの中には、地域資源や既存技術・実現可能と思われる技術・知識を融合させるか、地域内外の人々がどうコミュニケーションするか、といった内容が含まれます。本課題ではこうしたプロセスに高専がいかに関わるか、その役割を示してください。

3 評価指標

提案は次の五つの視点(地域性・自立性・創造性・影響力・実現可能性)から評価しますので、以下の①～⑤の内容を含むように留意してください。

- ① 地域性(地域の事情を踏まえた施策であること)

客観的なデータにより各地域の事情や将来性を十分に踏まえた持続可能な提案であること。

- ② 自立性(自立を支援する施策であること)

地域・企業・個人の自立に資するもの、「ひと」「しごと」の移転・創造を含み、特に外部人材の活用も含め「ひと」づくりにつながる提案であること。

- ③ 創造性(多様な人々により熟考されていること)

『創造性』を意識した提案であること。創造性は、多様な人々によるさまざまな視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれるといわれています。創生事業は、一つの分野だけで解決できるものではありません。そこに関係するさまざまな人々を巻き込んで生まれた創造性のあるアイデアを提案してください。

- ④ 影響力(課題解決に対する影響力)

本テーマに応募する原動力となった課題に対して、提案したアイデアがいかにパワフルで影響力がありそうかを評価します。一過性のものでなく、深く・強いアイデアを期待します。

- ⑤ 実現可能性(10年後までの実現可能性が1%でも見いだせればよい)

万人が納得できる論理的根拠に基づく提案であること。

4 競技方法

創造デザイン部門は予選と本選に分けて実施します。

4.1 予選

審査員によるプレゼンテーションポスターに基づく審査の結果、本選に出場する10点程度を選出します。審査結果はホームページに掲載するほか、応募された各高専の学生課宛てにe-mailにより連絡します。審査結果は、10月

上旬に発表します。

4.2 本選

本選では、1 日目にワークショップを実施した上で、2 日目の最終プレゼンテーションに基づいて審査員の評価によって行います。また、予選通過チームには『本選追加テーマ』を新たに通知します。

1 日目:ワークショップによるグループワーク(他高専の本選出場者と共同作業などを行います)

2 日目:応募チームごとによるポスターセッション(プレゼンテーションポスターは模造紙を用意しますので手書き、もしくはパソコンをプロジェクターにつないで投影できます。)

5 応募方法

5.1 予選

5.1.1 エントリー方法

今回の東京大会から Web によるエントリーを開始しますが、エクセルシートによる従来方式のエントリーも可とします。エントリーをする際、作品概要を記載する欄があります。そこには、記載する項目をいくつか示していますので、事前にエントリーシートを確認しておくこと。なお、作品概要の内容は、審査に影響しません。

① Webによるエントリー(こちらを推奨)

全国高等専門学校デザインコンペティション公式ページ(<http://デザコン.com/>)から、様式集へ入り、創造デザイン部門エントリーシートをダウンロードする。エントリーシートファイル内の「エントリー方法」に記載されたWebエントリーページへアクセスする。必要に応じた項目を、細心の注意を払って入力してください。

- ・プレゼンテーションポスターの画像データもこのとき必要となります。
- ・エントリーシートファイル内の「連絡シート(Webエントリー)」に、必要事項を記載の上、プレゼンテーションポスターの裏面右上隅に貼ってください。

② エクセルシートによるエントリー(従来方式)

全国高等専門学校デザインコンペティション公式ページ(<http://デザコン.com/>)から、様式集へ入り、創造デザイン部門エントリーシートをダウンロードする。

- ・エントリーシートファイル内の「エントリーシート(従来方式)」に、必要事項を記載の上、プレゼンテーションポスターの裏面右上隅に貼ってください。

5.1.2 提出物

① プレゼンテーションポスターA1版 パネル1枚(縦 or 横向き)

- ・3mm厚のスチレンボードに貼り、パネル化してください。
- ・ポスター裏右上隅に「連絡シート(Webエントリー)」(5.1.1-①参照)または「エントリーシート(従来方式)」(5.1.1-②参照)を貼ってください。
- ・立体物を貼らないでください。
- ・応募者の氏名・所属の記入は認めません。

② プレゼンテーションポスターの画像データ(PDF形式またはJPEG形式)

- ・Webエントリーの場合、Webエントリーページでエントリーする際にアップロードしてください。
- ・従来方式のエントリーの場合、CD-R または DVD-R に保存して提出してください。(ディスク表面には学校名・代表者氏名・作品名を記入してください。)

5.1.3 提出期間、提出方法、提出先

提出確認は、応募された各高専の学生課宛てに e-mail で連絡します。

- (1) 提出期間:2019年9月2日(月)~9月6日(金)17:00 必着
- (2) 提出方法:郵送または持参(Webエントリー方式でエントリーした場合、CD-R, DVD-R の提出は不要)
- (3) 提出先:公立大学法人首都大学東京 東京都立産業技術高等専門学校 デザコン東京大会 2019 事

務局創造デザイン担当

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40

e-mail: dc19-sozo@metro-cit.ac.jp

5.2 本選

5.2.1 提出物

提出物は有りませんが、本選 2 日目のポスターセッション用ポスターに必要な資料は持参してください。展示スペースは 1800×600mm のテーブルを用意します。パソコンによるプレゼンテーションとプロジェクターでポスターを同時に表示する場合、必要な器材は参加者が各自で用意してください。

5.2.2 提出期間、提出方法、提出先

提出方法等に関しては、10 月上旬に予選通過者に直接通知するとともに、ホームページで公開します。

6 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生および専攻科生を対象とします(所属学科および専攻は不問)。
- (2) チームは 2~4 名で構成してください。複数の高専との連合も可とします。
- (3) 同一部門で同一人物が複数の応募チームに参加することはできません。
- (4) 同一人物の予選へのエントリー制限: デザコン 2019 では、空間デザイン部門・AM デザイン部門・創造デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募することはできませんので、デザイン対象が同一あるいは他部門と重複する場合には最も適当であると判断する部門にエントリーしてください。ただし、この 3 部門で予選を通過できなかった場合には構造デザイン部門への応募は可とします。

7 審査委員および審査方法

7.1 審査委員

委員長: 西山佳孝(株式会社タウンキッチン執行役員/東シナ海の小さな島ブランド株式会社経営戦略本部長)

委員: 堀井秀之(i.school エグゼクティブ・ディレクター/一般社団法人日本社会イノベーションセンター(JSIC)代表理事/東京大学名誉教授)

委員: 太田直樹(New Stories 代表/Code for Japan 理事)

ワークショップファシリテーター: 鈴木諒子(東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程/i.school プロジェクトアシスタント/NPO 法人ミラツク研究員)

7.2 審査方法

予選・本選とも審査は審査員の協議によります。

8 質疑応答

課題内容、設計条件に関する質疑応答は行いません。提出方法、日程等の事務的な質疑に関しては、e-mail のみ受け付け、質疑への回答はホームページ上で公開します。

宛先は、下記の担当まで連絡をお願いします。

創造デザイン担当事務局 e-mail: dc19-sozo@metro-cit.ac.jp

9 表彰

- (1) 最優秀賞(文部科学大臣賞)1点
- (2) 優秀賞2点
- (3) 審査員特別賞2点

(4)総合資格賞1点

10 参加費

予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加者は1名あたり1,800円とします。

予選審査費は2019年9月12日(木)までに以下の口座に振り込むこと。また、本選参加費は 2019年11月7日(木)までに以下の口座に振り込むこと。

振り込み者名の後ろに所属高専名(略称)を記入すること。

例) サンギタロウ シナガワ

例) コウセンハナコ フクシマ

振り込まれた予選審査費及び本選参加費は、いかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。

【振込口座】

銀行名 大東京信用組合

支店名 品川支店

種別 普通預金

店番号 025

口座番号 0970409

口座名義 全国高専デザコン管理課長 小岩健一郎

フリガナ ゼンコクコウセンデザコンカンリカチョウ コイワケンイチロウ

11 付記

(1)応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとします。

(2)応募要項に違反した場合は失格となる場合があります。

(3)応募作品の著作権は基本的に製作者に帰属しますが、主催者の使用を妨げないものとします。

(4)応募作品の取り扱いについては、主催者が最善の注意を払いますが、天災等の不可抗力による損傷については責任を負いかねます。

(5)予選に提出されたポスターは原則的に公開を予定しています。

(6)予選提出作品は返却しません。

(7)プレゼンテーション資料および予選通過者の作品紹介の作品にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を行うこととします。

(8)オフィシャルブックには応募作品と共に担当教員の氏名が記載されます。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意をいただいたものとします。